

■ 医療を受ける際の配慮や工夫 障がい者が「あってよかった」と思った配慮や工夫

① バリアフリーに関すること

全施設内で、車いす使用が可能となるようバリアフリー化されていて助かる。	視覚障がい
車いすで利用しやすい病室の広さが確保されていて助かる。	視覚障がい、肢体不自由
待合室に車いすで待機できる場所があって、便利だった。	肢体不自由
各階に、身体障がい者用トイレが設置されているので助かる。	視覚障がい、聴覚障がい
病室内にトイレがついていて助かる。	視覚障がい
トイレに非常ボタンがあるので安心できる。	精神障がい

② コミュニケーション、案内、情報提供に関すること

医師や看護師が筆談により受付や診察を行ってくれるのでわかりやすい。	聴覚障がい、盲ろう
筆談したメモをもらえるようにお願いするとほとんどがくれるので助かる。	聴覚障がい
医師や看護師がパソコンやスマートホンの画面を使ってコミュニケーションしてくれるとわかりやすい。	聴覚障がい
身ぶりなどで伝えるようにしてくれるので助かる。	聴覚障がい
CTなどを受けるときも、全部指示を書いたカードで示してくれるので理解しやすかった。	聴覚障がい
マスクを外して口の動きを読めるよう説明してくれたので、わかりやすかった。	聴覚障がい
医師や看護師の中に手話ができる人がいて助かった。	聴覚障がい
手話通訳者がいて安心できた。	聴覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、盲ろう
通訳者がきっちりと通訳できるように、説明をしてくれたり、治療の方法とか内容を、前もって説明してくれる。	盲ろう
MRIの検査結果を大病院がCD-Rに入れて、地元の病院に持っていくことができた。それを、家に持って帰って見ることができた。	盲ろう
受付に「耳マーク」を表示している。	聴覚障がい
薬をもらう際や待合室の電光表示(番号など)がわかりやすい。	盲ろう、聴覚障がい
名前を呼ぶ時は直接呼びにきてくれるので助かる。	盲ろう、聴覚障がい

会計の時、受付の近くで待たせてもらい、手まねき、呼んでもらえたのが助かった。	聴覚障がい
ポケットベルのようなバイブ機能で順番を覚えてもらえて便利だった。	聴覚障がい
視覚障がい障がいであることを知ってくれているので、受付に行くと診察券を受けとってくれるので、自分で探さなくていい。	視覚障がい
院内放送がわかりやすい。	視覚障がい
総合案内の担当者が各科へ案内してくれるので助かっている。	視覚障がい
質問カードの記入の際、読み聞かせて記入してくれるので助かる。	視覚障がい
受診の時、絵やカードを見せて、見通しをつけてくれる先生がいて助かった。	知的障がい
食育などは、DVDなどで説明してくれるので理解しやすい。	知的障がい
医師がやさしい笑顔で、目を見てゆっくり説明してくれるのでよく理解出来た。	知的障がい
歯科治療を受けた時、事前にどんな事をするのかわかりやすいことばで説明を本人にしてくれ、何の問題もなく治療出来た。「こわい」をインプットされると今後治療が出来ない事もあるので、本当に良かったと感謝している。	知的障がい

③ その他

看護師等による誘導が詳しくスムーズに受診できる。視覚障がい者には検診ルートを職員が手を引いて付き添い、誘導してもらえた。	視覚障がい、盲ろう
入院したとき24時間いつでもトイレ等に連れて行ってきてよかった。	視覚障がい
薬をわかりやすく袋を分けて飲み方を説明してもらえて助かった。	視覚障がい
領収書と処方せんとを一枚一枚間違わない様に手渡してくれるので、薬局でもスムーズに提出できる。	視覚障がい、盲ろう
病院で受付した際、持参した検査予約券、予約票と共にファイルの中に「目の不自由な方なのでお願いします」という文言カードが入っていた。気配りに感謝している。	視覚障がい
病院によっては、難聴者用カードを用意していてカルテに付けて回している。	聴覚障がい
病室のベットの場所をトイレや出口に近い所にしてくれたので助かった。	視覚障がい
精神的ストレスから倒れて、ケガした為入院した時、主治医(整形外科医)が心のケアもしてくれ、安心できた。	肢体不自由
担当の医師が、ヘルパーに聞かずに私の言っている事を聞いてくれてる事が嬉しかった。	肢体不自由
聴覚障がい者に対してのレントゲンや検査のやり方、伝え方を、一緒に考えて進めてくれた。	聴覚障がい
検尿の際、窓口まで持っていきことが困難なため、採尿が済んだ頃を見計らって取りに来ていただけだったので、とても助かった。	肢体不自由
すぐに物を紛失してしまうので医療機関が自立支援医療の関係書類を預かってくれるのはありがたい。	精神障がい
体調が悪い時に、即効性のある点滴をしてくれるので助かっている。	精神障がい
往診が助かる。	音声・言語・そしやく機能障がい、肢体不自由